

平成 23 年度
入学者選抜要項



Fukui Prefectural University
公立大学法人 福井県立大学

目 次

◎入学者受入方針	1
◎選 抜 要 項	
I 募 集 人 員	6
II 一 般 選 抜	7
III 推 薦 入 試	12
IV 帰国子女特別選抜	16
V 中国引揚者等子女特別選抜	17
VI 社会人特別選抜	18
VII 私費外国人留学生特別選抜	19
VIII 個別の入学資格審査	20
IX 障害を有する入学志願者等との事前相談	20
X 学生募集要項の配布	20
XI 個人情報 の 取 扱 い に つ い て	22
XII 平成24年度以降の大学入試センター試験の利用教科・科目等について（予告）	22

入 学 者 受 入 方 針

【大学の理念】

福井県立大学は、時代の進展に即応した学術文化の高度化を推進する拠点として、真理探究の精神、広い視野と豊かな創造力、高度で専門的な知識・技術を有する有為な人材を養成するとともに、先進的な科学の研究および技術の開発を行い、学術情報を地域社会へ開放することにより、福井県はもとより、わが国の産業と文化の発展に寄与することを目的とし、もって人類の永続的福祉の向上に貢献することを使命としています。

この使命を達成するために、次の三つの基本理念を掲げています。

- ① 「新しい時代にふさわしい魅力ある大学」
- ② 「特色ある教育・研究を行う個性ある大学」
- ③ 「地域社会と連携した開かれた大学」

【教育目標】

- ① 学問への知的関心を引き出すとともに、全人的教養を身につけ、自立した個人として成長できる能力を養う。
- ② 科学の飛躍的発展に対応できる高度な知識や技術とともに、専門職にふさわしい態度を身につけ、社会のニーズに対応できる能力を養う。
- ③ 少人数教育の特性を活かした思考力・判断力・表現力・創造力・コミュニケーション力など総合的人間力を身につけ、社会・個人との豊かな関わりがもてる能力を養う。
- ④ 国際化、情報化、少子高齢化などの時代の変化を捉え、地球環境問題や経済・医療福祉問題など新たな課題に取り組む能力を養う。
- ⑤ 自ら学問を探究する態度を身につけ、個性ある研究が行える能力を養う。
- ⑥ 地域社会との連携を深め、地域住民と協働した社会づくりに貢献できる態度を養う。

経済学部

【教育理念】

経済学部の教育は次のことに心がけて行います。

- ① 教員自身が面白がって研究している姿を学生に見せるとともに、その成果を学生に伝えるように努めること。
- ② 研究に基づいて教育の水準を高く維持すること。
- ③ 学生の知識水準に注意を払い、学生が吸収しやすいよう教授法についても研究を重ねること。
- ④ 多様な学生の需要に応じるため、教員集団の多様性を保ち、学生に自発的な選択の余地を与えると同時に、教員個人も多様な見方があることを示すよう努めること。

【教育目標】

経済学部は、学生が次のようになることを目標としています。

- ① 経済の運動や企業の行動についての古今の学説を知り、社会科学についての教養を深め、経済社会の仕組みを知る。
- ② 現実の経済・経営を分析する能力をもち、政策について判断する力を身につける。
- ③ 自らの頭で考え、自らの進路を切り開くことができる自立した個人に成長する。

【求める学生像】

経済学部は、次のいずれかに該当する学力ある学生を求めます。

- ① 高等学校で英語、国語、数学、理科、地理歴史・公民に関して十分な基礎学力を身につけた学生
- ② 社会のしくみや運動、企業の行動について興味を持ち、それらを知ること意欲的である学生
- ③ 経済学や経営学を学ぶことで、なんであれ自分で考え自分で判断する力を身につけたいと考えている学生
- ④ 経済学・経営学についてかなりの程度まで専門的知識を身につけ、それを将来就く職業に生かしたいと考えている学生

生物資源学部

【教育理念】

食糧・エネルギー・環境問題など、21世紀に生きる私たちは数多くの困難に出会っています。これらの困難を解決することは、日本はもとより世界のすべての人々の幸せな生活のために大切であるとともに、未来に生きる人々に対する私たちの責任でもあります。生物資源学部では、社会の多様な場でこれらの困難を解決し社会の真の発展を図る意欲、能力、創造性そして寛容さを備えた人材の育成を理念としています。そのため、初年度における学術教養・社会倫理教育を踏まえて、生命科学の基礎学理とこれらを支える実験・実習を重視し、さらに、徹底した少人数教育と導入教育により学生と教員の心のふれあいと学生一人ひとりの学習の達成を大切にしている教育を行っています。このような教育の質をいっそう向上させるために、日本技術者教育認定機構（JABEE）による教育プログラムの認定を受けています。

【教育目標】

生物資源学部では、つぎの教育目標を定め、責任ある社会人として必要な教養と倫理を身につけるとともに、価値観のゆらぐ現代社会において、生物資源に係わる諸問題について、現象の本質に迫り、変化するものとしなないものを見極め、最新の専門知識と先端技術による適切な対処が出来る能力を養うための教育を推進しています。

- ① 生物資源の利用にあたって、そのための科学技術が自然や社会に与える影響を多面的に考え、責任ある方向づけができるために必要な基礎的素養を身につける。
- ② 生命科学の幅広い理解と応用のために必要な基礎学としての数学と自然科学の知識および情報技術を身につける。
- ③ 生物資源を利用した農業的生産ならびに工業的生産に関する専門知識ならびにそれを実践する上での安全に関する知識を身につける。
- ④ 急速に変化する生命科学とそれに係わる技術に対応するために必要な情報収集能力を身につける。
- ⑤ 自らの考えを論理的に表現し議論するための対話能力と文章作成能力を身につける。

【求める学生像】

生物資源学部では、一般選抜に加えて、推薦入試や特別選抜、さらには私費外国人留学生などさまざまな経歴と目的を持った受験生を広く受け入れています。これは、多様な経歴と個性が混じり合うことで多様な価値観を理解できる教育の場が実現し、さらにこれら人材の活躍こそが生物資源をめぐる地域社会や国内外での難問題を解決することに繋がると考えられるからです。

生物資源学を大学で学ぶためには、高等学校等において生物と化学の基礎学力を身につけておくことが望まれます。

微生物から高等動植物まで多様な生物に興味と関心を持ち、分子から生態系におよぶ広範な科学分野の勉学に強い意欲をもって取り組み、生物資源に係わる知識と技術をもとに、将来、地域社会、日本、世界の人々の幸せのために働く意欲と希望を持った学生を福井県立大学生物資源学部は求めています。

海洋生物資源学部

【教育理念】

海洋基本法が成立し、海洋生物資源学の重要性が高まるとともに、優れた研究者の養成と高度な学術研究の推進に対する需要が高まっています。また、特に基礎的研究部門や先端的科学技術部門において、高度の専門的知識と能力を有する人材への需要が増加し、海洋生物資源の高度利用、生産環境問題などの問題に対して、適切に対処していくことが強く求められています。

このような背景の下、本学部は、日本海側唯一の水産・海洋系学部として、海洋生物資源にかかわるすべての分野を研究対象とし、先進的な基礎研究と応用研究を展開して、これらの問題解決に取り組んでいます。

【教育目標】

本学部では、日本海側特有の地域性を踏まえ、かつ国際的な視野に立ち、基礎ならびに応用を学習・創造し、自ら学び取り、問題点を解決し得る能力とともに社会の調和的発展に貢献する資質を修養する教育をめざしています。そのため、

- ① 幅広い視点を持ち、同時に自らの社会的役割を理解して行動できる資質を身につける。
- ② 専門基礎能力とさらに進んだ専門知識と応用能力とともに、自主的に学習を継続する能力を身につける。
- ③ 必要な情報を収集し、それらをもとに解決のための計画を立案し、十分なコミュニケーションを図りながら、制約された条件下で実行する能力を身につける。

以上をめざした教育を推進し、日本技術者教育認定機構（J A B E E）による教育プログラム認定を受けています。

【求める学生像】

21世紀は海洋の時代、環境の時代、そして安全・安心の食の時代といわれています。海洋の多様な生物とその環境に関心を持ち、海洋生物資源の育成と利用のために強い意欲を持って勉学に取り組む学生の入学を期待しています。そのためには、社会科学から自然科学まで多様な学問分野を視点に捉えることが必要です。高校教育では、理科を中心として幅広い基礎学力を身につけていることが望まれます。

入学後は、さまざまな個性と背景をもった学生諸君が、お互いに良い刺激を与えながら切磋琢磨し、社会に巣立ったときに、相互の立場を理解し十分なコミュニケーションをはかりながら、現実的な解決方法を探っていけるような能力を身につけられることを期待しています。

看護福祉学部

【教育理念】

看護福祉学部では、人間尊重を根幹とするヒューマンケアの理念に基づき、個性豊かで創造的な人間性を育みます。看護および社会福祉の専門的知識と技術、倫理観に裏付けられた実践力をもって、人々の健康と福祉の向上に貢献できる人材を育成します。さらに社会およびその時々の個人や家族の多岐にわたるニーズに応じたサービスを提供するために、専門職として自己研鑽を積むことができる人材を養成します。

【教育目標】

看護学科

- ① 生命の尊厳、人権擁護の立場から人々の健康生活を支援できる能力を育成する。
- ② 人々を全人的に理解するための豊かな感性を育成する。
- ③ 科学に裏付けられた専門的知識と技術を用いて、人々の個性に応じた看護を主体的に創造できる能力を育成する。
- ④ 保健、医療、福祉との連携・協働をはかり、個人および社会のニーズに応じた看護を行える能力を育成する。
- ⑤ 自ら探求する態度を身につけ、将来にわたり専門職として看護を発展させていくための研究・教育・管理能力の基礎を育成する。

社会福祉学科

- ① 普遍的な社会福祉の価値観、思想および倫理を重んじ、人間の尊厳重視、人権擁護および社会正義の立場から人々の生活を支援できる人材を育成する。
- ② 人々の生活やその困難を、環境との関連から理解し、人々に共感することのできる幅広い知識と豊かな感受性を育む。
- ③ 科学に裏付けられた知識、方法および専門技術を用い、人々の個別のニーズに応じた社会福祉サービスの創造と適用ができる能力を育成する。
- ④ 学際的多職種連携による実践を通じて個人、家族および社会のニーズに応えられる能力ならびに国際的視野を涵養する。
- ⑤ 講義・演習・実習という三つのプログラムにおいて、専門職をめざして社会福祉を主体的に学び、探求していく姿勢と態度の修得を促す。

【求める学生像】

看護および社会福祉は、人々の健康と生活に直接かわる学問です。したがって、本学部では、社会の動向や人間に関心をもてる人、他者の考えや独自性を尊重できる人、経験を通して自分自身を振り返ることのできる人、さらに、主体的に学習に取り組む熱意のある人の入学を期待します。

高等学校においては、人々とのコミュニケーションに必要な国語や英語の基礎学力を高めることが大切です。さらに、社会、地域、人々の生活、および人の身体やこころの仕組みを理解できるような科目を意識的に学習することを望みます。

I 募集人員

学 部	学 科	入学定員	募 集 人 員						
			一 般 選 抜		推薦入試	特 別 選 抜			
			前期日程	後期日程		帰 国 子 女	中 国 引 揚 者 等 子 女	社 会 人	私 費 外 国 人 留 学 生
経済学部	経済学科	100名	40名	40名	20名	若干名	若干名	若干名	若干名
	経営学科	100名	40名	40名	20名	若干名	若干名	若干名	若干名
生物資源学部	生物資源学科	45名	18名	18名	9名	若干名	若干名	若干名	若干名
海洋生物資源学部	海洋生物資源学科	50名	20名	20名	10名	若干名	若干名	若干名	若干名
看護福祉学部	看護学科	50名	20名	20名	10名	若干名	若干名	若干名	若干名
	社会福祉学科	30名	12名	12名	6名	若干名	若干名	若干名	若干名
計		375名	150名	150名	75名	若干名	若干名	若干名	若干名

- (注) 1 一般選抜の「前期日程」および「後期日程」は、分離・分割方式の区分によります。
- 2 各学科の推薦入試募集人員の約半数は、高等学校において職業教育を主とする学科および総合学科(出願資格に制約があります。詳細は12～14ページ参照)を卒業見込みの者を対象とします。
- 3 特別選抜の「若干名」は、一般選抜の前期日程の募集人員に含まれます。

Ⅱ 一般選抜

1 出願資格

平成23年度大学入試センター試験のうち、本学の指定する教科・科目を受験した者で、以下の各号のいずれかに該当するもの

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者または平成23年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者または平成23年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者または平成23年3月31日までにこれに該当する見込みの者

(注) 学校教育法施行規則第150条第7号の規定により「個別の入学資格審査」を受けて出願する者は、事前に資格審査を受けなければなりません。詳細については、教育推進課までお問い合わせください。

2 選抜方法

入学者の選抜は、平成23年度大学入試センター試験および個別学力検査等の成績ならびに調査書の内容を総合して行います。平成22年度大学入試センター試験の成績は利用しません。

なお、①大学入試センター試験および個別学力検査において、本学が指定する教科・科目を1つでも受験しなかった場合、②大学入試センター試験の外国語において英語を選択した者がリスニングテストを受験しなかった場合は、いずれも失格となります。

(1) 試験科目および試験時間

区分	学部	大学入試センター試験利用教科・科目	個別学力検査等	
			学力検査教科・出題範囲	試験時間
前 期 日 程	経済学部	〔2教科2(数の場合3)科目〕 【必須】 外 (英(リスニング含む), 独, 仏, 中, 韓から1) 【選択】 地歴(世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1) 公民(現社, 倫, 政経から1) 数(数I・数A必須)と(数II・数B, 工, 簿, 情報から1) 理(理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1)	〔2教科〕 【必須】 国(国語総合・現代文・古典) 英(英I・英II・リーディング・ライティング)	各教科 90分
	生物資源学部	〔2教科2科目〕 【必須】 理(理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1) 外(英(リスニング含む), 独, 仏, 中, 韓から1)	〔2教科〕 【必須】 理(物I・物II, 化I・化II, 生I・生IIから1) 英(英I・英II・リーディング・ライティング)	
	海洋生物資源学部	〔2教科2科目〕 【必須】 理(理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1) 外(英(リスニング含む), 独, 仏, 中, 韓から1)	〔2教科〕 【必須】 理(物I・物II, 化I・化II, 生I・生IIから1) 英(英I・英II・リーディング・ライティング)	
	看護福祉学部	〔2教科2科目〕 【必須】 外(英(リスニング含む), 独, 仏, 中, 韓から1) 【選択】 地歴(世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1) 公民(現社, 倫, 政経から1) 理(理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1)	〔2教科〕 【必須】 国(国語総合・現代文・古典) 英(英I・英II・リーディング・ライティング)	

区分	学部	大学入試センター試験利用教科・科目	個別学力検査等	
			学力検査教科・出題範囲	試験時間
後 期 日 程	経済学部	〔4教科5科目〕 【必須】 国（国語） 数（数Ⅰ・数Ⅱ必須）と（数Ⅲ・数Ⅳ, 工, 簿, 情報から1） 外（英（リスニング含む）, 独, 仏, 中, 韓から1） 【選択】 地歴（世Ⅰ, 世Ⅱ, 日Ⅰ, 日Ⅱ, 地理Ⅰ, 地理Ⅱから1） 公民（現社, 倫, 政経から1） 理（理Ⅰ, 理Ⅱ, 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ, 地学Ⅰから1）	〔小論文と1教科〕 【必須】 小論文（800字程度） 【選択】 数（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ⅳ） 英（英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング・ライティング）	各教科・小論文とも90分
	生物資源学部	〔4教科5科目〕 【必須】 数（数Ⅰ・数Ⅱ必須）と（数Ⅲ・数Ⅳ, 工, 簿, 情報から1） 理（理Ⅰ, 理Ⅱ, 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ, 地学Ⅰから1） 外（英（リスニング含む）, 独, 仏, 中, 韓から1） 【選択】 国（国語） 地歴（世Ⅰ, 世Ⅱ, 日Ⅰ, 日Ⅱ, 地理Ⅰ, 地理Ⅱから1） 公民（現社, 倫, 政経から1）	〔1教科〕 【選択】 数（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ⅳ） 英（英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング・ライティング）	
	海洋生物資源学部	〔4教科5科目〕 【必須】 数（数Ⅰ・数Ⅱ必須）と（数Ⅲ・数Ⅳ, 工, 簿, 情報から1） 理（理Ⅰ, 理Ⅱ, 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ, 地学Ⅰから1） 外（英（リスニング含む）, 独, 仏, 中, 韓から1） 【選択】 国（国語） 地歴（世Ⅰ, 世Ⅱ, 日Ⅰ, 日Ⅱ, 地理Ⅰ, 地理Ⅱから1） 公民（現社, 倫, 政経から1）	〔1教科〕 【選択】 数（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ⅳ） 英（英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング・ライティング）	各教科90分
	看護福祉学部	〔4教科5科目〕 【必須】 国（国語） 数（数Ⅰ・数Ⅱ必須）と（数Ⅲ・数Ⅳ, 工, 簿, 情報から1） 外（英（リスニング含む）, 独, 仏, 中, 韓から1） 【選択】 地歴（世Ⅰ, 世Ⅱ, 日Ⅰ, 日Ⅱ, 地理Ⅰ, 地理Ⅱから1） 公民（現社, 倫, 政経から1） 理（理Ⅰ, 理Ⅱ, 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ, 地学Ⅰから1）	〔1教科〕 【選択】 数（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ⅳ） 英（英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング・ライティング）	

(2) 注意事項

① 大学入試センター試験の利用教科・科目名について

ア 世界史Ⅰ、日本史Ⅰ、地理Ⅰを選択できる者は、高等学校においてB科目を履修しなかった者に限ります。

イ 工業数理基礎、簿記・会計、情報関係基礎を選択できる者は、高等学校においてこれらの科目を履修した者および専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

ウ 理科総合Ⅰを選択できる者は、高等学校において物理Ⅰ、物理Ⅱ、化学Ⅰ、化学Ⅱをいずれも履修しなかった者に限ります。

理科総合Ⅱを選択できる者は、高等学校において生物Ⅰ、生物Ⅱ、地学Ⅰ、地学Ⅱをいずれも履修しなかった者に限ります。

② 個別学力検査等について

ア 物理Ⅱについては、「物質と原子」の「原子、電子と物質の性質」および「原子と原子核」の両方を含む全範囲を出題範囲とします。

イ 化学Ⅱについては、「生活と物質」および「生命と物質」の両方を含む全範囲を出題範囲とします。

ウ 生物Ⅱについては、「生物の分類と進化」および「生物の集団」の両方を含む全範囲を出題範囲とします。

エ 数学Ⅱについては、「数列」と「ベクトル」を出題範囲とします。

(3) 得点調整について

個別学力検査における次の選択教科・科目間で、15点以上の平均点差が生じ、これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合には、得点調整を行います。

- ① 生物資源学部、海洋生物資源学部の前期日程における理科の「物理」、「化学」、「生物」の間
- ② 後期日程の「英語」、「数学」の間

3 出願期間および選抜期日

区分	出 願 期 間	選 抜 期 日
前期日程	平成23年1月24日(月)～2月2日(水)	平成23年2月25日(金)
後期日程		平成23年3月12日(土)

4 学力検査等の配点

(1) 前期日程

経済学部		国 語	地理歴史	公 民	数 学	理 科	外国語	合 計
	大学入試センター試験		(100)	(100)	(100)	(100)	100	200
	個別学力検査	100					100	200

- (注) 1 大学入試センター試験で、地理歴史、公民、数学および理科のうち2教科以上を受験した場合は、最高得点の教科を採用し、理科について2科目以上を受験した場合は、最高得点の科目を採用します。
- 2 大学入試センター試験の外国語で英語を選択した場合は、「英語リスニング」を含み、筆記試験とリスニングテストの合計得点に0.4を乗じた値を利用します。
- 3 配点に()の付してある教科は選択教科を表します。
- 4 個別学力検査の外国語は英語に限ります。

生物資源学部		国 語	地理歴史	公 民	数 学	理 科	外国語	合 計
	大学入試センター試験					100	100	200
	個別学力検査					100	100	200

- (注) 1 大学入試センター試験で、理科について2科目以上を受験した場合は、最高得点の科目を採用します。
- 2 大学入試センター試験の外国語で英語を選択した場合は、「英語リスニング」を含み、筆記試験とリスニングテストの合計得点に0.4を乗じた値を利用します。
- 3 個別学力検査の外国語は英語に限ります。

海洋生物資源学部		国 語	地理歴史	公 民	数 学	理 科	外国語	合 計
	大学入試センター試験					100	100	200
	個別学力検査					100	100	200

- (注) 1 大学入試センター試験で、理科について2科目以上を受験した場合は、最高得点の科目を採用します。
- 2 大学入試センター試験の外国語で英語を選択した場合は、「英語リスニング」を含み、筆記試験とリスニングテストの合計得点に0.4を乗じた値を利用します。
- 3 個別学力検査の外国語は英語に限ります。

看護福祉学 部		国 語	地理歴史	公 民	数 学	理 科	外国語	合 計
	大学入試センター試験		(100)	(100)			(100)	100
個別学力検査	100						100	200

- (注) 1 大学入試センター試験で、地理歴史、公民および理科のうち2教科以上を受験した場合は、最高得点の教科を採用し、理科について2科目以上を受験した場合は、最高得点の科目を採用します。
- 2 大学入試センター試験の外国語で英語を選択した場合は、「英語リスニング」を含み、筆記試験とリスニングテストの合計得点に0.4を乗じた値を利用します。
- 3 配点に（ ）の付してある教科は選択教科を表します。
- 4 個別学力検査の外国語は英語に限ります。

(2) 後期日程

経済学部		国 語	地理歴史	公 民	数 学	理 科	外国語	小論文	合 計
	大学入試センター試験	100	(100)	(100)		100	(100)	100	
個別学力検査					(100)		(100)	100	200

- (注) 1 大学入試センター試験で、地理歴史、公民および理科のうち2教科以上を受験した場合は、最高得点の教科を採用し、理科について2科目以上を受験した場合は、最高得点の科目を採用します。
- 2 大学入試センター試験の外国語で英語を選択した場合は、「英語リスニング」を含み、筆記試験とリスニングテストの合計得点に0.4を乗じた値を利用します。
- 3 配点に（ ）の付してある教科は選択教科を表します。
- 4 個別学力検査の外国語は英語に限ります。

生物資源学 部		国 語	地理歴史	公 民	数 学	理 科	外国語	合 計
	大学入試センター試験	(100)	(100)	(100)		100	100	100
個別学力検査					(100)		(100)	100

- (注) 1 大学入試センター試験で、国語、地理歴史および公民のうち2教科以上を受験した場合は、最高得点の教科を採用し、理科について2科目以上を受験した場合は、最高得点の科目を採用します。
- 2 大学入試センター試験の外国語で英語を選択した場合は、「英語リスニング」を含み、筆記試験とリスニングテストの合計得点に0.4を乗じた値を利用します。
- 3 配点に（ ）の付してある教科は選択教科を表します。
- 4 個別学力検査の外国語は英語に限ります。

海洋生物資源学部		国 語	地理歴史	公 民	数 学	理 科	外国語	合 計
	大学入試センター試験	(100)	(100)	(100)		100	100	100
個別学力検査					(200)		(200)	200

- (注) 1 大学入試センター試験で、国語、地理歴史および公民のうち2教科以上を受験した場合は、最高得点の教科を採用し、理科について2科目以上を受験した場合は、最高得点の科目を採用します。
- 2 大学入試センター試験の外国語で英語を選択した場合は、「英語リスニング」を含み、筆記試験とリスニングテストの合計得点に0.4を乗じた値を利用します。
- 3 配点に（ ）の付してある教科は選択教科を表します。
- 4 個別学力検査の外国語は英語に限ります。

看護福祉 学 部		国 語	地理歴史	公 民	数 学	理 科	外国語	合 計
	大学入試センター試験	100	(100)	(100)	100	(100)	100	400
個別学力検査				(100)		(100)	100	

- (注) 1 大学入試センター試験で、地理歴史、公民および理科のうち2教科以上を受験した場合は、最高得点の教科を採用し、理科について2科目以上を受験した場合は、最高得点の科目を採用します。
- 2 大学入試センター試験の外国語で英語を選択した場合は、「英語リスニング」を含み、筆記試験とリスニングテストの合計得点に0.4を乗じた値を利用します。
- 3 配点に()を付してある教科は選択教科を表します。
- 4 個別学力検査の外国語は英語に限ります。

5 合格発表日

前期日程	平成23年 3月 6日(日)
後期日程	平成23年 3月21日(月)

6 第2志望について

経済学部においては、出願の際に、第1志望の学科のほか、他の学科を第2志望の学科とすることができます。この場合には、選抜の結果、第2志望の学科の合格者となることがありますので、十分考慮の上、志望する学科を決めてください。

看護福祉学部においては、第1志望のみとします。

7 その他

入学手続き者が入学定員に満たない場合の欠員補充の方法は、追加合格によります。

Ⅲ 推薦入試

1 出願資格

出願する学部、学科、推薦入試の区分（出身学科を指定しない推薦入試、出身学科を指定する推薦入試の区分）に従い、該当する項の各号すべてに該当する者

（注）大学入試センター試験を受ける必要はありません。

（1）共通事項

- ① 人物、学業成績ともに優秀で、かつ、健康であり、高等学校長が責任をもって推薦できる者
- ② 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者

（2）経済学部（経済学科、経営学科共通）

【出身学科を指定しない推薦入試】

- ① 高等学校を平成23年3月卒業見込みの者

（注）福井県外の高等学校を卒業見込みの者については、本人または保護者が平成22年4月1日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。

- ② 調査書の英語、国語および数学の評定平均値の平均が4.0以上の者

【出身学科を指定する推薦入試】

- ① 次のいずれかに該当する者

ア 専門高等学校または高等学校の職業教育を主とする学科を平成23年3月卒業見込みの者

イ 高等学校の総合学科で職業教育に関する教科・科目を20単位以上修得見込みの者で、平成23年3月卒業見込みのもの

（注）上記アおよびイにおいて、福井県外の専門高等学校または高等学校を卒業見込みの者については、本人または保護者が平成22年4月1日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。

- ② 調査書の英語、国語および数学の評定平均値の平均が4.0以上の者（高等学校において簿記および会計の両科目を履修した者にあつては、これらの評定平均値を数学の評定平均値に代えることができます。）

（3）生物資源学部生物資源学科

【出身学科を指定しない推薦入試】

- ① 高等学校を平成23年3月卒業見込みの者

（注）福井県外の高等学校を卒業見込みの者については、本人または保護者が平成22年4月1日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。

- ② 調査書の英語、国語および数学の評定平均値の平均が4.0以上の者

- ③ 高等学校において、物理、化学、生物のうち1科目以上を履修している者

【出身学科を指定する推薦入試】

- ① 次のいずれかに該当する者

ア 専門高等学校（商業高等学校を除きます。）または高等学校の職業教育を主とする学科（商業科を除きます。）を平成23年3月卒業見込みの者

イ 高等学校の総合学科で職業教育に関する教科・科目（商業に関する教科・科目を除きます。）を20単位以上修得見込みの者で、平成23年3月卒業見込みのもの

(注) 上記アおよびイにおいて、福井県外の専門高等学校または高等学校を卒業見込みの者については、本人または保護者が平成22年4月1日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。

- ② 調査書の英語、国語および数学の評定平均値の平均が4.0以上の者
- ③ 高等学校において、物理、化学、生物（これらに相当する専門科目を含みます。）のうち1科目以上を履修している者

(4) 海洋生物資源学部海洋生物資源学科

【出身学科を指定しない推薦入試】

- ① 高等学校を平成23年3月卒業見込みの者
(注) 福井県外の高等学校を卒業見込みの者については、本人または保護者が平成22年4月1日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。
- ② 調査書の英語、国語および数学の評定平均値の平均が4.0以上の者
- ③ 高等学校において、物理、化学、生物のうち1科目以上を履修している者

【出身学科を指定する推薦入試】

- ① 次のいずれかに該当する者
 - ア 専門高等学校（商業高等学校を除きます。）または高等学校の職業教育を主とする学科（商業科を除きます。）を平成23年3月卒業見込みの者
 - イ 高等学校の総合学科で職業教育に関する教科・科目（商業に関する教科・科目を除きます。）を20単位以上修得見込みの者で、平成23年3月卒業見込みのもの
 - ウ 福井県外の水産系の高等学校または高等学校の水産系の学科を平成23年3月卒業見込みの者
(注) 上記アおよびイにおいて、福井県外の専門高等学校または高等学校を卒業見込みの者については、本人または保護者が平成22年4月1日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。
- ② 調査書の英語、国語および数学の評定平均値の平均が4.0以上の者
- ③ 高等学校において、物理、化学、生物（これらに相当する専門科目を含みます。）のうち1科目以上を履修している者

(5) 看護福祉学部看護学科

【出身学科を指定しない推薦入試】

- ① 高等学校を平成23年3月卒業見込みの者
(注) 福井県外の高等学校を卒業見込みの者については、本人または保護者が平成22年4月1日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。
- ② 調査書の英語、国語および数学の評定平均値の平均が4.0以上の者

【出身学科を指定する推薦入試】

- ① 高等学校の衛生看護科を平成23年3月卒業見込みの者
(注) 福井県外の高等学校を卒業見込みの者については、本人または保護者が平成22年4月1日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。
- ② 調査書の英語、国語および数学の評定平均値の平均が4.0以上の者

(6) 看護福祉学部社会福祉学科

【出身学科を指定しない推薦入試】

- ① 高等学校を平成23年3月卒業見込みの者

(注) 福井県外の高等学校を卒業見込みの者については、本人または保護者が平成22年4月1日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。

- ② 調査書の英語、国語および数学の評定平均値の平均が4.0以上の者

【出身学科を指定する推薦入試】

- ① 次のいずれかに該当する者

ア 専門高等学校または高等学校の職業教育を主とする学科を平成23年3月卒業見込みの者

イ 高等学校の総合学科で職業教育に関する教科・科目を20単位以上修得見込みの者で、平成23年3月卒業見込みのもの

(注) 上記アおよびイにおいて、福井県外の専門高等学校または高等学校を卒業見込みの者については、本人または保護者が平成22年4月1日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。

- ② 調査書の英語、国語および数学の評定平均値の平均が4.0以上の者

- ③ 高等学校において、福祉に関する科目（『社会福祉士及び介護福祉士法施行規則』別表第一に掲げる「福祉」の科目および本学が福祉に関する科目と認める科目）を8単位以上修得見込みの者

(注) 本学が福祉に関する科目と認める科目は、高等学校学習指導要領（平成11年文部省告示第58号）の教科「家庭」のうち、「家庭看護・福祉」です。

2 推薦人数

各高等学校から推薦できる人数は、次の表に掲げる推薦人数の範囲内とします。

高等学校の区分	学部	学科	推薦人数	
			出身学科を指定しない推薦入試	出身学科を指定する推薦入試
福井県内の高等学校	経済学部	経済学科	1名	制限なし
		経営学科	1名	
	生物資源学部	生物資源学科	1名	
	海洋生物資源学部	海洋生物資源学科	1名	
	看護福祉学部	看護学科	1名	
		社会福祉学科	1名	
福井県外の高等学校 (注1)	経済学部	経済学科	1名	1名
		経営学科		
	生物資源学部	生物資源学科		
	海洋生物資源学部	海洋生物資源学科		
	看護福祉学部	看護学科		
		社会福祉学科		
福井県外の水産系の高等学校または水産系の学科を置く高等学校	海洋生物資源学部	海洋生物資源学科		1名 (注2)

(注1) 福井県外の高等学校から推薦できる者は、本人または保護者が平成22年4月1日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。

(注2) 福井県外の水産系の高等学校または水産系の学科を置く高等学校から「出身学科を指定する推薦入学」に推薦できる人数には、福井県外の高等学校から「出身学科を指定する推薦入試」に推薦できる人数は含まれません。

3 選 抜 方 法

入学者の選抜は、小論文および面接の成績ならびに調査書および自己推薦書の内容を総合して行います。

(注) 小論文は、800字程度(90分)

4 出願期間、選抜期日および合格発表日

出願期間	平成22年11月 9日(火)～11月17日(水)
選抜期日	平成22年11月27日(土)・28日(日)
合格発表日	平成22年12月3日(金)

5 調査書の記入について

高等学校長には、能力・適性などから、本学の学部・学科に対し特に推薦できる生徒について、その旨を調査書の「備考」欄に記入していただきます。

また、以下の各号のいずれかに該当する生徒については、その具体的内容を調査書の「備考」欄に記入していただきます。

- (1) 生徒会活動、スポーツ・文化活動、ボランティア活動などで特に優れた成績を収め、またはリーダーシップを発揮している場合
- (2) 特に誇れる資格がある場合
- (3) その他、特筆すべき優れた活動をしている場合

6 自己推薦書について

「自己推薦書」には、出願者本人に、自己推薦文、校内・校外等での活動、取得資格を記入していただきます。

7 第2志望について

出願においては、第1志望のみとします。第2志望は認められません。

IV 帰国子女特別選抜

1 出願資格

日本国籍を有する者、日本国の永住許可を得ている者、その他これらに準ずる者であって、保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を受けているもののうち、以下の各号のいずれかに該当するもの

- (1) 外国の教育制度に基づく教育機関において、最終学年を含め2学年以上継続して学校教育を受け、12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含みます。）を平成21年4月1日から平成23年3月31日までに卒業（修了）した者または卒業（修了）見込みの者
- (2) 外国の教育制度に基づく教育機関において、2年以上継続して学校教育を受け、12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含みます。）を中途退学し、引き続き日本の高等学校の第3学年もしくは中等教育学校の第6学年に編入学を認められた者で、平成23年3月卒業見込みのもの
- (3) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格を平成21年または平成22年に授与された者で、平成23年4月1日現在において満18歳に達しているもの
- (4) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成21年または平成22年に授与された者で、平成23年4月1日現在において満18歳に達しているもの
- (5) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成21年または平成22年に授与された者で、平成23年4月1日現在において満18歳に達しているもの

(注) 1 (1) および (2) において、外国に設置された教育機関であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間は、外国において学校教育を受けたものとはみなしません。

2 大学入試センター試験を受ける必要はありません。

2 選抜方法

入学者の選抜は、小論文、学力検査および面接の成績ならびに出願書類の内容を総合して行います。

(注) 小論文は、800字程度（90分）

学力検査は、英語の基礎学力を測るもの（60分）

3 出願期間、選抜期日および合格発表日

出願期間	平成22年12月 1日（水）～12月 8日（水）
選抜期日	平成22年12月18日（土）
合格発表日	平成23年 1月 7日（金）

4 第2志望について

経済学部においては、出願の際に、第1志望の学科のほか、他の学科を第2志望の学科とすることができます。この場合には、選抜の結果、第2志望の学科の合格者となることがありますので、十分考慮の上、志望する学科を決めてください。

看護福祉学部においては、第1志望のみとします。

V 中国引揚者等子女特別選抜

1 出願資格

日本国籍を有する者および日本国の永住許可を得ている者、その他これに準ずる者であって、保護者が引揚者であり、日本国へ引揚げ後、原則として9年以下である者のうち、学校教育法第90条の規定により大学の入学資格を有する者または平成23年3月31日までに入学資格を有することとなる見込みの者

(注) 1 中国引揚者等子女とは、保護者（父と母、または父母のいずれか、或いは祖父母等）が引揚者である者をいいます。この引揚者とは、終戦前（昭和20年9月2日以前をいいます。）から引き続き外国に居住していた者（当該者を親として終戦後外国において出生した者を含みます。）で、終戦後はじめて永住の目的をもって帰国したものをいいます。

2 大学入試センター試験を受ける必要はありません。

2 選抜方法

入学者の選抜は、小論文、学力検査および面接の成績ならびに出願書類の内容を総合して行います。

(注) 小論文は、800字程度（90分）

学力検査は、英語の基礎学力を測るもの（60分）

3 出願期間、選抜期日および合格発表日

出願期間	平成22年12月 1日（水）～12月 8日（水）
選抜期日	平成22年12月18日（土）
合格発表日	平成23年 1月 7日（金）

4 第2志望について

経済学部においては、出願の際に、第1志望の学科のほか、他の学科を第2志望の学科とすることができます。この場合には、選抜の結果、第2志望の学科の合格者となることがありますので、十分考慮の上、志望する学科を決めてください。

看護福祉学部においては、第1志望のみとします。

VI 社会人特別選抜

1 出願資格

平成23年4月1日現在において満23歳に達しており、社会人の経歴を3年以上有する者で、以下の各号のいずれかに該当するもの。この場合、定時制、夜間、通信制以外の学校の在学期間は社会人の経歴の期間に含めません。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

(注) 1 大学入試センター試験を受ける必要はありません。

2 (3)において、学校教育法施行規則第150条第7号の規定により「個別の入学資格審査」を受けて出願する者は、事前に資格審査を受けなければなりません。詳細については、教育推進課までお問い合わせください。

2 選抜方法

入学者の選抜は、小論文、学力検査および面接の成績ならびに出願書類の内容を総合して行います。

(注) 小論文は、800字程度(90分)

学力検査は、英語の基礎学力を測るもの(60分)

3 出願期間、選抜期日および合格発表日

出願期間	平成22年12月 1日(水)～12月 8日(水)
選抜期日	平成22年12月18日(土)
合格発表日	平成23年 1月 7日(金)

4 第2志望について

経済学部においては、出願の際に、第1志望の学科のほか、他の学科を第2志望の学科とすることができます。この場合には、選抜の結果、第2志望の学科の合格者となることがありますので、十分考慮の上、志望する学科を決めてください。

看護福祉学部においては、第1志望のみとします。

Ⅶ 私費外国人留学生特別選抜

1 出願資格

外国の国籍を有し、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「平成22年度日本留学試験（第1回または第2回）」を日本語で受験した者で、以下の各号のいずれかに該当するもの

なお、本学が日本留学試験の成績を利用する科目は、下表のとおりです。（○は必須、△は選択を表します。）

学部名	学科名	日本語	総合科目	数 学	理 科	備 考
経済学部	経済学科	○	△	○(※1)	△(※2)	「日本語、総合科目、数学」または「日本語、数学、理科」のいずれでも可
	経営学科					
生物資源学部	生物資源学科	○	—	○(※1)	○(※2)	
海洋生物資源学部	海洋生物資源学科	○	—	○(※1)	○(※2)	
看護福祉学部	看護学科	○	—	○(※1)	○(※2)	
	社会福祉学科		○		—	

※1 数学……「コース1」、「コース2」のいずれでも可

※2 理科……3科目（「物理」、「化学」、「生物」）から2科目自由選択

- (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者もしくは平成23年3月修了見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (2) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で、平成23年4月1日現在において満18歳に達しているもの
- (3) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、平成23年4月1日現在において満18歳に達しているもの
- (4) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、平成23年4月1日現在において満18歳に達しているもの
- (5) (1)、(2)、(3) または (4) の者と同等の出願資格があると本学において認めた者

(注) 大学入試センター試験を受ける必要はありません。

2 選抜方法

入学者の選抜は、小論文、学力検査、面接および日本留学試験の成績ならびに出願書類の内容を総合して行います。

(注) 小論文は、800字程度（90分）

学力検査は、英語の基礎学力を測るもの（60分）

3 出願期間、選抜期日および合格発表日

出願期間	平成22年12月 1日（水）～12月 8日（水）
選抜期日	平成22年12月18日（土）
合格発表日	平成23年 1月 7日（金）

4 第2志望について

経済学部においては、出願の際に、第1志望の学科のほか、他の学科を第2志望の学科とすることができます。この場合には、選抜の結果、第2志望の学科の合格者となることがありますので、十分考慮の上、志望する学科を決めてください。

看護福祉学部においては、第1志望のみとします。

VIII 個別の入学資格審査

学校教育法施行規則第150条第7号の規定により、本学の入学資格審査を受けようとする者は、所定の申請書に関係書類を添付して、平成22年8月2日(月)から平成22年9月10日(金)【必着】までに申請してください。

詳細については、教育推進課までお問い合わせください。

なお、入学資格審査の内容については、福井県立大学ホームページ (<http://www.fpu.ac.jp>) で確認してください。

IX 障害を有する入学志願者等との事前相談

障害を有する等、受験上特別な措置および修学上特別な配慮を必要とする可能性のある入学志願者は、出願の前にあらかじめ教育推進課まで連絡し、相談してください。相談の時期や方法については、後日配布する学生募集要項を参照してください。

なお、一般選抜により本学への入学を志願する受験者のうち、体幹および両上下肢の機能障害が著しい方で、大学入試センター試験で代筆解答を希望する方は、センター試験出願以前のできるだけ早い時期に教育推進課まで連絡し、事前相談をしてください。

X 学生募集要項の配布

1 発表時期

- (1) 一般選抜学生募集要項……………11月上旬頃
- (2) 推薦入試学生募集要項……………10月中旬頃
- (3) 特別選抜学生募集要項(帰国子女、中国引揚者等子女、社会人、私費外国人留学生)
……………10月中旬頃

2 学生募集要項の請求方法


(1) 大学のホームページから請求する場合【一般選抜のみ】

本学のホームページから直接、テレメールによる資料請求ができます。

詳しくは、福井県立大学ホームページ (<http://www.fpu.ac.jp>) をご覧ください。

(2) インターネット(パソコン・携帯電話)または自動音声応答電話で請求する場合【一般選抜のみ】

① 下記のいずれかの方法でテレメールにアクセスしてください。

インターネット(携帯電話・パソコン)	自動音声応答電話
<p>http://telemail.jp</p> <p>※パソコン・携帯電話各社共通アドレス</p>	<p>I P 電話 050-8601-0101 (24時間受付)</p>
<p>携帯電話でQRコードを読み取り、アクセスした場合は資料請求番号の入力は不要。</p> 	



テレメール

※I P 電話への一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約11円です。

② 資料請求番号（6桁）を入力またはプッシュしてください。

資料名	資料請求番号	送料	発送開始日
大学案内	563202	210円	8月 5日（予定）
一般選抜学生募集要項	583202	210円	11月下旬（予定）
一般選抜学生募集要項+大学案内	543202	290円	11月下旬（予定）

③ あとはガイダンスに従って登録してください。

- * 受付から2、3日で送付されます。ただし、発送開始日前までの請求は予約受付となり、発送開始日に一齐に郵送します。
- * 一度使用された暗証番号（4桁）は必ず控えておいてください。お問い合わせや送料を支払う際に必要となります。
また、テレメールを繰り返し利用する時にも便利です。
- * 送料は、届いた資料に同封されている支払方法により支払ってください。
- * 電話による請求の場合、住所、名前の登録時は、ゆっくりはっきりと話してください。登録された音声不鮮明な場合は、到着まで時間がかかることがあります。

(3) 郵便局で請求する場合（10月より案内開始）【一般選抜のみ】

郵便局に設置されている「国公立大学・短期大学及び通信教育課程、大学校募集要項（願書）請求申込書」（郵便局用願書請求カタログ）に必要事項を記入の上、送料と払込手数料120円を添えて、最寄りの郵便局の窓口で申込んでください。発送開始日以降は、受付から1週間程度で送付されます。

なお、請求申込書は高等学校で入手できる場合もあります。

上記（1）、（2）、（3）の請求方法についてのお問い合わせ先

テレメール カスタマーセンター IP電話 050-8601-0102 (9:30~18:00)

(4) 本学へ請求する場合

① 郵送による方法

封筒の表に「学生募集要項請求」（一般選抜、推薦入試および特別選抜の区分を明記してください。）と朱書きし、返信用封筒（角型2号封筒に返送先の住所・氏名を明記し、240円切手を貼付したもの。）を教育推進課まで送付してください。

② ファックスによる方法

「学生募集要項請求」と記載し、希望する学部・選抜区分、受取人の郵便番号、電話番号、住所および氏名を明記し、申し込んでください。本学からは、受取人着払いで送付します。

③ 来学による請求

各選抜区分ともそれぞれの出願期間最終日までは、直接来学して受領できます。教育推進課にお問い合わせください。

- ④ 次の福井県事務所においても募集要項を配布します。
ただし、これらの事務所においては、郵送の受付および問い合わせには応じかねます。

事務所名	住 所	電 話 番 号
福井県東京事務所	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館10階	03-5212-9074
福井県ビジネス支援センター 「ふくい南青山291」	東京都港区南青山5-4-41	03-5778-0291
福井県大阪事務所	大阪府大阪市中央区瓦町2-2-14 福井県大阪事務所1階	06-6231-1023

(注) (4) の①、②の方法での請求については、到着まで1週間程度の日数を要しますので、余裕を持って請求願います。

XI 個人情報の取扱いについて

本学が保有する個人情報については、以下のとおり取扱いますので、予めご了承ください。

- 1 個人情報は、「福井県個人情報保護条例」および「公立大学法人福井県立大学個人情報保護取扱規程」に基づき、適正に処理します。法令等の規定に基づくときなどの例外を除き、原則として、第三者に提供することはありません。
- 2 入学資料請求に当たってお知らせいただいた氏名、住所およびその他の個人情報については、資料の送付および統計資料作成等の業務を行うために利用します。
- 3 出願に当たってお知らせいただく個人情報の取扱いについては、各選抜の学生募集要項に掲載します。

XII 平成24年度以降の大学入試センター試験の利用教科・科目等について（予告）

平成24年度大学入試センター試験から、大学入試センター試験の出題科目の選択範囲等が変更されます。これに関連し本学では、当該試験の利用教科・科目のうち、「地理歴史・公民」に「倫理、政治・経済」を追加します。

平成24年度以降の大学入試センター試験の利用教科・科目等は次頁のとおりです。

平成24年度以降の福井県立大学入学者選抜における大学入試センター試験の利用教科・科目について

区分	学部	大学入試センター試験利用教科・科目	科目の選択方法
前期	経済学部	[2教科2(数の場合3)科目] 【必須】 外国語(英(リスニング含む),独,仏,中,韓から1) 【選択】 地理歴史・公民(世A,世B,日A,日B,地理A,地理B,現社,倫,政経,倫・政経から1) 数学(数Ⅰ・数A必須)と(数Ⅱ・数B,工,簿,情報から1) 理科(理総A,理総B,物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰから1)	【選択】 地理歴史・公民、数学および理科のうち2教科以上を受験した場合は、最高得点の教科を採用し、地理歴史・公民および理科について2科目受験した場合は、最高得点の科目を採用する。
	生物資源学部	[2教科2科目] 【必須】 理科(理総A,理総B,物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰから1) 外国語(英(リスニング含む),独,仏,中,韓から1)	【必須】 理科について2科目受験した場合は、最高得点の科目を採用する。
日程	海洋生物資源学部	[2教科2科目] 【必須】 理科(理総A,理総B,物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰから1) 外国語(英(リスニング含む),独,仏,中,韓から1)	【必須】 理科について2科目受験した場合は、最高得点の科目を採用する。
	看護福祉学部	[2教科2科目] 【必須】 外国語(英(リスニング含む),独,仏,中,韓から1) 【選択】 地理歴史・公民(世A,世B,日A,日B,地理A,地理B,現社,倫,政経,倫・政経から1) 理科(理総A,理総B,物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰから1)	【選択】 地理歴史・公民および理科のうち2教科を受験した場合は、最高得点の教科を採用し、両教科について2科目を受験した場合は、最高得点の科目を採用する。
後期	経済学部	[4教科5科目] 【必須】 国語(国語) 数学(数Ⅰ・数A必須)と(数Ⅱ・数B,工,簿,情報から1) 外国語(英(リスニング含む),独,仏,中,韓から1) 【選択】 地理歴史・公民(世A,世B,日A,日B,地理A,地理B,現社,倫,政経,倫・政経から1) 理科(理総A,理総B,物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰから1)	【選択】 地理歴史・公民および理科のうち2教科を受験した場合は、最高得点の教科を採用し、両教科について2科目を受験した場合は、最高得点の科目を採用する。
	生物資源学部	[4教科5科目] 【必須】 数学(数Ⅰ・数A必須)と(数Ⅱ・数B,工,簿,情報から1) 理科(理総A,理総B,物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰから1) 外国語(英(リスニング含む),独,仏,中,韓から1) 【選択】 国語(国語) 地理歴史・公民(世A,世B,日A,日B,地理A,地理B,現社,倫,政経,倫・政経から1)	【必須】 理科について2科目受験した場合は、最高得点の科目を採用する。 【選択】 国語および地理歴史・公民のうち2教科を受験した場合は、最高得点の教科を採用し、地理歴史・公民について2科目を受験した場合は、最高得点の科目を採用する。
	海洋生物資源学部	[4教科5科目] 【必須】 数学(数Ⅰ・数A必須)と(数Ⅱ・数B,工,簿,情報から1) 理科(理総A,理総B,物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰから1) 外国語(英(リスニング含む),独,仏,中,韓から1) 【選択】 国語(国語) 地理歴史・公民(世A,世B,日A,日B,地理A,地理B,現社,倫,政経,倫・政経から1)	【必須】 理科について2科目受験した場合は、最高得点の科目を採用する。 【選択】 国語および地理歴史・公民のうち2教科を受験した場合は、最高得点の教科を採用し、地理歴史・公民について2科目を受験した場合は、最高得点の科目を採用する。
	看護福祉学部	[4教科5科目] 【必須】 国語(国語) 数学(数Ⅰ・数A必須)と(数Ⅱ・数B,工,簿,情報から1) 外国語(英(リスニング含む),独,仏,中,韓から1) 【選択】 地理歴史・公民(世A,世B,日A,日B,地理A,地理B,現社,倫,政経,倫・政経から1) 理科(理総A,理総B,物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰから1)	【選択】 地理歴史・公民および理科のうち2教科を受験した場合は、最高得点の教科を採用し、両教科について2科目を受験した場合は、最高得点の科目を採用する。

(注)「倫理、政治・経済」は「倫・政経」と表記しています。

問い合わせ・事前相談・募集要項請求先

福井県立大学 教育・学生支援部 教育推進課

〒910-1195

福井県吉田郡永平寺町松岡兼定島4-1-1

Tel 0776-61-6000 (内線1022)

Fax 0776-61-6012

Eメール nyusi@fpu.ac.jp